【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年5月29日(2023.5.29)

【公開番号】特開2022-168271(P2022-168271A)
【公開日】令和4年11月4日(2022.11.4)
【年通号数】公開公報(特許)2022-203
【出願番号】特願2022-146125(P2022-146125)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３１２Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和5年5月19日(2023.5.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技球の重さで動作して、前記遊技球を一側または他側へ振り分ける振分部材と、前記一側へ振り分けられた前記遊技球を検出する第１検出手段と、前記他側へ振り分けられた前記遊技球を検出する第２検出手段と、を備えた遊技機において、
前記振分部材に到達した前記遊技球が前記第１検出手段に検出されるまでに要する時間と前記第２検出手段に検出されるまでに要する時間との差が小さくなるように調整する調整手段を備えることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
遊技球の重さで動作して、遊技球を一側または他側へ振り分ける振分部材と、一側へ振り分けられた遊技球を検出する第１検出手段と、他側へ振り分けられた遊技球を検出する第２検出手段と、を備えた遊技機が知られている（特許文献１）。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
【特許文献１】特開２０１７－１４８１８９号公報
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、設計の自由度が低いという問題点があった。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、設計の自由度を高めることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
この目的を達成するために請求項１記載の遊技機は、遊技球の重さで動作して、前記遊技球を一側または他側へ振り分ける振分部材と、前記一側へ振り分けられた前記遊技球を検出する第１検出手段と、前記他側へ振り分けられた前記遊技球を検出する第２検出手段と、を備えたものであり、前記振分部材に到達した前記遊技球が前記第１検出手段に検出されるまでに要する時間と前記第２検出手段に検出されるまでに要する時間との差が小さくなるように調整する調整手段を備える。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
請求項１記載の遊技機によれば、設計の自由度を高めることができる。